

仲間づくり教養コース ②国際社会学

## ロシア・ユーラシアのいま

第1回 湧き立つユーラシア

### ソ連解体後の地域としてのユーラシアの形成

日時 10月24日(土) 10:00am~

場所 ふじみ野交流センター 講座室

講師 堀江則雄氏 (法政大学社会学部 講師)

受講生 43名

第38期の「国際社会学講座」がスタートしました。

21世紀に入って広大な領域のロシア・ユーラシアには新しい風が吹いています。

ソ連解体後の諸民族の台頭、国境画定、交通インフラやパイプラインの建設、物とヒトの奔流—歴史的に画期的な潮流です。それが持つ意味、歴史的な背景、今後の展望を探っていきます。

講師の堀江則雄先生は、東京外国語大学ロシア学科を卒業後、国立国会図書館に勤務。現在は法政大学社会学部講師としてご活躍されています。

今シリーズは、ジャーナリストとしてワシントンDCやモスクワに駐在された経験を活かし、独自取材を通しマスコミ報道されていないお話もあり、初回から質問も多く受講生の反応は良好でした。

<はじめに>

中央アジア (ハンガリー高原からモンゴル高原)

ユーラシア諸民族の興亡 (匈奴、フン、突厥、ウイグル)

マーシャル仁、フィン仁の西進、ユーラシア帝国としてのモンゴル帝国(史上初のグローバル帝国)

ロシア=第二のユーラシア帝国、60年間でシベリア征服、カザン、アストラハハン、シベリア・ハーン征服、西トルキスタンでもハーン国を征服

#### ソ連解体とチェルク系諸民族の独立・台頭

\*遊牧民族だった諸民族1億5千万人の胎動

トルコ・コーカサス・中央アジア・北コーカサス・ヴォルガ川沿岸・アルダイ・サハ・ウイグル・アフガン

\*「歴史なき民族」「忘れられた民族」の世界史への参入

\*トルコ=チェルク Turk、突厥、アルタイ山麓からの西方への大移動、アナトリア半島へ。言語、シンボル「灰色の狼」(汎トルコ主義)、独立=アゼルバイジャン、「スタン」5ヶ国、連邦条約による大幅な自治=タタールスタン、バシコルトスタン、タタール(韃靼)ロシア第二の民族、チェチェン、イングーシ、アルタイ、ハカス、トゥーバ、ヤクート、東トルキスタン独立運動、トルキスタン

ヘーゲルの「進歩の世界史」からはずされた諸民族、「自分たちの歴史をもったことがない」「歴史の歩みによって踏みつぶされた民族」

**国際社会学講座**

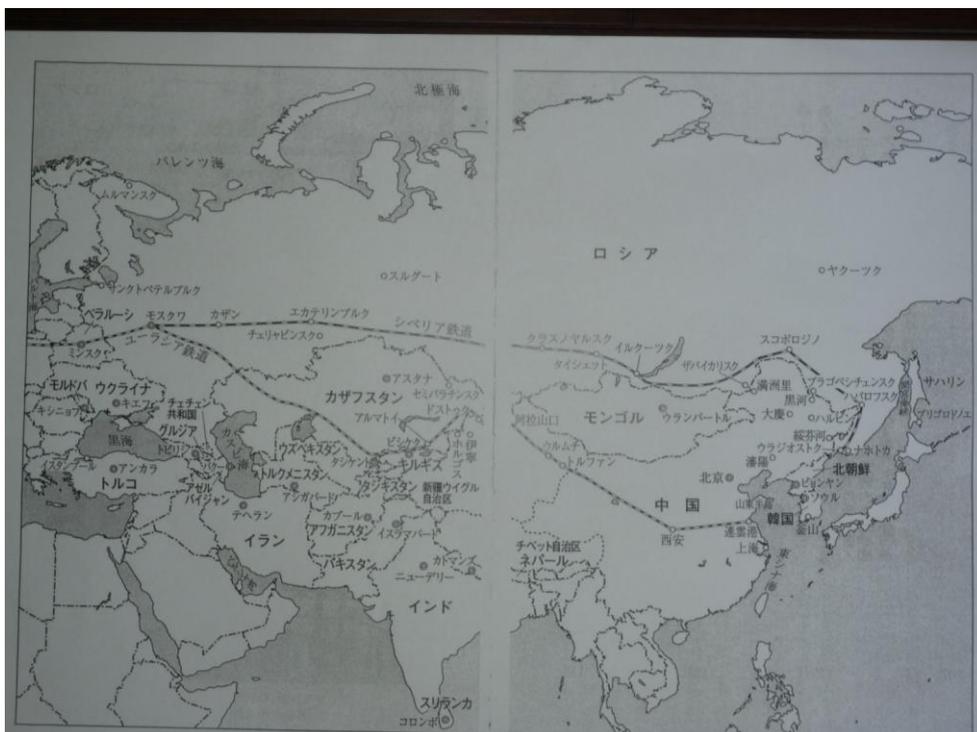
**ロシア・ユーラシアのいま**

**第1回 湧き立つユーラシア**  
ソ連解体後の地域としてのユーラシアの形成

**第2回 スーチンのロシア**  
欧米とは異なる体制とユーラシア外交をめざす

**講師 法政大学社会学部講師 堀江則雄氏**

【第38期国際社会学講座のポスター】



【ロシア・ユーラシア全景】

## 地域としての「ユーラシア」の形成

- \* Eurasia = Europe + Asia
- \* 「地域」は自然に存在するのではなく、作られる
- \* 7300キロの国境が「断絶」から「架け橋」へ
- \* 地域をゆるやかに束ねる上海協力機構（SCO）の創立  
加盟国＝ロシア、中国、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、ウズベキスタン、さらにインド・パキスタンも
- \* 非対決型で多様性抱えた地域協力組織
- \* 国際政治経済秩序の公正・民主的転換を求める



【富山県が作製した、南北逆に見た日本とユーラシアについて説明される堀江講師】

- \* 2000年前後にロシア、カザフスタン、キルギス、タジキスタンと中国の国境画定がほぼフイフテイ・フイフテイで決着、非武装地帯など相互信頼醸成措置→「上海ファイブ」→上海協力機構（2001年）、「対立と緊張」から「平和と安定ゾーン」へ転換  
物流、ユーラシア鉄道、高速道路の拡充・整備、中ロ・中央アジア貿易の飛躍的拡大
- \* SCO = 15年間で存在感増す。世界総人口の40%、ほぼM帝国の版図、さらに拡大。  
ブロックでなく非対決型の多極世界の極、憲章で国連重視と「公正で民主的な世界政治経済秩序」  
政治的協調、対テロ軍事協力、シルクロード再生など経済・エネルギー協力、SCO開発銀行の

## 創設、ロシア・中国・インド枢軸



【狭い会場で犇めく中、講師の話に集中された受講生】

### ロシアの重心の東への移動と中国の爆発的發展

- \* バクー→ヴォルガ沿岸・ウラル→西シベリア→東シベリア・極東
- \* 経済・貿易関係の飛躍的發展、ロシア・中国・中央アジア
- \* ユーラシアを貫く鉄道、高速道路
- \* 石油・天然ガス・パイプライン網の展開
- \* 石油・天然ガス産地の東への移動、シベリア・極東の開発に力点、18世紀のペテルブルグ建都とウラジオストク再建・`第三の首都`、ユーラシア経済連合、中国の`一帯一路`構想、シルクロード基金、中ロ構想の調整
- \* 東シベリア太平洋PL、アルタイPL、サハリンPL、朝鮮半島縦断PL、カスピ海から中国への大陸横断PL、南アジアPL。史上初めて東ユーラシアにPL網、PLの国際政治学（相互依存・互惠・相互信頼）

お知らせ：鶴瀬公民館が工事中のため、会場は次回以降も「ふじみ野交流センター」です

【文責：秋山孝昭】